

エコドライブ活動で

平均燃費が11.6%改善

神奈川県グリーン経営認証取得も進む

神奈川県トラック協会

等はこのほど、昨年五、六月にト協会員事業者を対象に実施したエコドライブ等実施状況調査の結果を公表。十六年度調査結果と比較すると、小型トラックで平均燃費が一・六%改善するなど、エコドライブによる効果が大いことがわかった。

調査は、三十台以上を保有している会員事業者四百七十六社のうち、回答を得た二百六十四社（回収率五五%）について、平成二十年度の平均燃費やエコドライブに関する取り組み状況などに

関して、集計・分析を行った。

平均燃費は、小型（車両総重量四ト超七ト未満）では、一ト当たり六・二六キロ（以下、単位は省略）と十六年度の調査結果に比べ一・六%改善。中型（七ト超十八ト未満）は、五・二六で六・〇%改善している。

エコドライブの取り組み状況については、交通エコモ財団が認証・登録を行っているグリーン経営認証取得事業者の割合が二四・六%と十九年度に比べ二・〇%増加。デジタコなど運行管理シス

テムの導入は、六四・四%と一・八%増加している（左表）。
取り組みによる燃費改善効果の違いについては、グリーン経営認証取得事業者の小型トラックでは平均燃費が六・五二%（七%）にのぼる。

これら、エコドライブ活動の拡大によるCO₂の排出削減量は、十六年度比で二・五万ト（七・七%）にのぼる。

取り組みによる燃費改善効果の違い

区分	取り組み内容	平均燃費 (km/l)	
		20年度	16年度
小型	グリーン経営認証取得	6.52	6.02
	運行管理システム導入	6.35	5.49
	取り組み未実施	6.05	5.59
中型	グリーン経営認証取得	5.51	5.19
	運行管理システム導入	5.31	5.20
	取り組み未実施	5.00	4.84
大型	グリーン経営認証取得	3.56	3.57
	運行管理システム導入	3.47	3.17
	取り組み未実施	2.56	2.99